

厚生委員会主催 健康講話

青年部会 9月例会報告

青年部会の9月例会は厚生委員会主催の「ここまで来た癌の治療最前線～医者のかかり方～」に出席するという形態で開催されました。講師には東海大学の佐々木先生をお迎えし、「がん」についての講演を伺いました。

まず始めに死因別死亡率について話をされました。昭和50年代以降は「悪性新生物」による死亡が増加し現在ではトップになっていてその中の98%が「がん」だということです。

昭和30年代から60年代にかけての死因は男性では胃がんが多かったものが現在では肺がんが一番多



く、女性は胃・大腸・肺・肝臓の順だそうです。

「がん」というと「腫瘍」という言葉を連想される方が多いと思いますが、腫瘍の分類として良性・悪性があり、さらに悪性の中で癌腫・肉腫に分類され、悪性のうち98%が癌腫ということです。

そのほかには、がんは上皮から発生し、粘膜下層に進行すること、上皮にあるうちはほぼ100%完治し、早期発見されれば粘膜下層のものでも80%～85%は治るとお話されていました。「がん組織」についても詳しく説明され、ルゴール法といった検査方法など具体的に細かく説明をうけ大変勉強になりました。

いろいろなお話の中で、青年部会の方々が特に興味を持ったのが喫煙とがんの関係で、統計学上は原因として考慮すべき点はあるが特にはっきりとした因果関係はわからないもので、逆に喫煙により「アルツハイマー病」を防ぐ効果がみこまれるという学説も紹介され、青年部会の方々はアルツハイマー予防の為講演後は一斉に煙を上げていました。

質疑応答のときも質問は青年部会の方が多く、皆さん健康に気をつけている様子が伺えました。

(広報 長根記)



●恒例の日帰りバス旅行●

隅田川ライン下り・浜離宮庭園・皇居東御苑・浅草観音仲見世散策

厚生委員会主催による「初秋の都内めぐり」が10月6日(土)行われた。参加者172名は4台のバスに分乗し、車中委員さんから「楽しい一日を過ごしましょう」と挨拶がありました。

皇居東御苑 大手門より旧百人番所・旧江戸城本丸その他の一部が皇居附属庭園として整備され公開されています。小高い天守閣に立ってみますと武道館や桃華楽堂が間近に見えます。

昼食は第一ホテル 40種以上のイタリア・スペイン料理をメインとしたバイキング。食欲の秋らしい企画です。ほんのり頬を染め会話を楽しみながらの食事に皆さん幸を感じています。

浅草観音 仲見世通りは人の波です。両側に並ぶみやげ品店に気を取られつつ、まずはお参りを済ませます。人力車に乗った人、コマースシャルでおなじみの銘菓を求めたりと自由行動を満喫しました。

隅田川ライン下り 吾妻橋より12の橋をくぐり、浜離宮迄の東京の小さな船旅。勝鬨橋を始め形も色もそれぞれ個性豊かな橋ばかりです。心地よい秋風と移り変わる景色を楽しむ40分はアッと云う間に過ぎました。

浜離宮恩賜庭園 徳川將軍の別邸として江戸時代の代表的な回遊式潮入築山泉水庭園。庭園内には鴨場(昭和19年迄使用されていたそうです)、潮入の池(都内では唯一の海水池)、中島の御茶店とお伝い橋、三百年の松(都内最大級の黒松)等、都内とは思えない静かさです。

役員の皆様の素晴らしい企画により朝はゆっくりと出発したバスの旅。心なごむくつろぎの一時と見たり聞いたり心に大きな収穫がありました。

(広報 斉藤記)

